

人工光合成:材料・物性・デバイスとシステムからのアプローチ ～ 太陽光からの人工燃料生成 ～

期日: 2015年9月15日(火) 13:15 - 18:00

会場: 名古屋国際会議場センチュリーホール(応用物理学会会場 CE)

世話人: 応用物理学会・エネルギーシステム研究会

杉山正和(東大), 藤井克司(東大), 内田晴久(東海大), 小栗和也(東海大)

■プログラム

13:15 - 13:45 藤井 克司 (東大)

イントロダクトリー: 自然エネルギーから化学エネルギーへの変換の現状と二酸化炭素の電気化学還元

13:45 - 14:30 Joel Ager (JCAP) 英語での講演です

Fundamental Challenges for Sustainable Solar Fuels Production

14:30 - 15:00 中村 振一郎 (理研)

CO₂の活性化とは? 量子化学の言葉で解剖すればどうなるか

15:00 - 15:30 休憩

15:30 - 15:45 小野 陽子 (NTT)

TiO₂薄膜を用いたCO₂光還元反応に対する金属助触媒の効果

15:45 - 16:15 森川 健志 (豊田中研)

金属錯体触媒-半導体の複合系による人工光合成:
二酸化炭素、水、太陽光による有機物の高効率合成

16:15 - 16:45 四橋 聡史 (パナソニック)

無機系触媒を用いた人工光合成および二酸化炭素還元

16:45 - 17:15 小野 昭彦 (東芝)

人工光合成の取り組みと将来展望

17:15 - 17:30 中村 龍平 (理研)

生体酵素に着目した硫化鉄系二酸化炭素還元触媒

17:30 - 17:45 飯塚 哲 (東北大)

水素プラズマシャワー法による二酸化炭素のメタンへの変換

17:45 - 18:00 内田 晴久、藤井 克司 (東海大、東大)

クロージング・リマーク

参加無料(応用物理学会の非会員の方でも、どなたでもご参加可能)

※本シンポジウム以外の講演会を聴講される際は、講演会Registrationにて参加費のお支払いをお願い致します。

事前申し込みをwebサイトにてお願いします。 <https://pro.form-mailer.jp/fms/9877208381229>

問い合わせ先: 応用物理学会講演会担当 meeting@jsap.or.jp